

所長の模型部屋（第17回）

皆さん、こんにちは。自衛隊の戦車のイメージって今や10戦車・90式戦車に代表されていますが、昭和30～40年代の長きにわたり、ゴジラやキングギドラ達と戦い続けた主力戦車がありました。怪獣に踏まれても不撓不屈の戦いを繰り広げた・・・

M4A3E8戦車です。



この戦車は警察予備隊時の昭和27年に導入されたM24戦車のあと、昭和29年保安隊から陸上自衛隊に名称が変更となり、この年からM24に変わる主力戦車として導入され、昭和40年代にかけて在籍していました。

M4戦車と言えば、太平洋戦争で日本陸軍の97式中戦車を圧倒撃破した宿敵であるイメージがありますが、その戦車が日本を守る戦車になろうとは誰が予想したでしょう。しかし、模型を並べてみても分かるのですが、97式中戦車ではこの戦車を撃破できませんよね。タミヤの「97式中戦車改」の箱絵には、撃破され燃えるシャーマン戦車の横を勇ましく通り過ぎる姿が書かれていますが・・・そりゃ無理だろ！と思ってしまいます。

今は富士学校の営庭に1両が飾られています。同学校で教育を受けていたときは、この戦車を眺め、かつて南洋の島々で爆弾を持って突入していた先輩達の心境を思うと胸が痛みました。

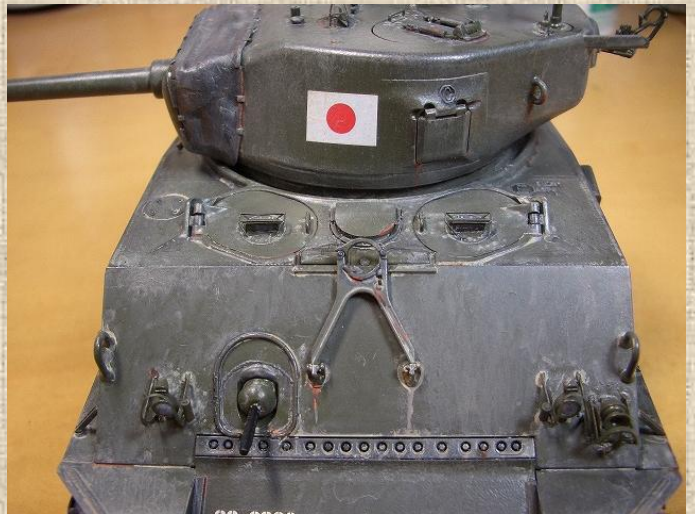


キットはタスカ社製で、出来の良さとキャタピラの製作要領がめんどくさい（泣）のが印象的です。これまで、シャーマンファンのモデラーにはイーゲーエイトのキットで良い物がなかったとの声が大勢を占めていましたが、このキットの出現で、一挙に解決です。文句ないですね。

しかし、製作時間のほとんどをキャタピラに費やしてしまいました。ベルト式なのにゴムパットを一枚一枚接着し、しかもセンターガイドまで・・・ある意味カステンのキャタピラ並みかも。

足回りが可動するのですが、キャタピラが少し硬いため、第1転輪と第6転輪が上に上がってしまいます。なので、車体内におもりを入れて接地面が齊一になりました。コレにより、突起物を乗り越える際に自然な転輪の動きが表現できます。





車体色はグンゼの「ブラウンバイオレット」を使用しました。ある模型雑誌の作例で、この色を使用していたので参考に試してみたのですが、まさにこの色です！陸上自衛隊のOD色は！！昔の陸上自衛隊のOD色はこの色です！73式大型トラックもこの色でした。皆さんも試してみてください。あくまで昭和時代の自衛隊OD色ですからね。パジェロの色にするにはちょっと適さないと思います。



タスカさんの重機関銃のパーツ割りにはびっくりしました。銃身を差し込むようになっていますし、モールドもシャープですよね。塗装はいつものフラットブラックに鉛筆芯こすりつけです。エンジングリル部は改修型としました。





マーキングは第1師団第1戦車大隊仕様としました。やはり日本の戦車なのだから日の丸を付けなくちゃ!たとえ米国製の戦車でも・・・
もう、ここまで改修されると中戦車ではなくて重戦車ですよ。さて、次回は・・・



60式自走106mm無反動砲 です。
昭和の香りプンプンの装備品です。お楽しみに・・・